

# スポーツ文化施設建設運営特別委員会

日時 令和4年9月22日（木）  
午前10時  
場所 第四委員会室

## ○ 議 題

### 《文化創造推進課》

- 1 更上閣ガーデンレストラントライアル事業について

### 《スポーツ振興課》

- 2 新井田公園テニスコート増設等工事について

### 《美術館》

- 3 八戸市美術館の企画について

### 《長根屋内スケート場》

- 4 長根屋内スケート場における夏季合宿の状況について
- 5 長根屋内スケート場スケートリンク一般開放について
- 6 2024 ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会の日程変更等について

## 更上閣ガーデンレストラン トライアル事業について

### 1. 目的

この事業は、更上閣（国登録有形文化財）、及び、更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることを目的に、キッチンカーを活用した実証実験を実施し、課題等を探るために行うもの。

また、「はちのへ文化のまちづくりプラン」に掲載したユニークベニューの取組事例として、更には、第4期八戸市中心市街地活性化基本計画に歴史的建造物と広場を活用した賑わい拠点として位置づけ活用を図ることを目指すもの。

※ユニークベニューとは

歴史的建造物、寺社仏閣、城跡、美術館や博物館などを、通常では行わない会議・レセプション・イベント等に使用すること。特別感や地域特性を演出するねらいがある。

### 2. 概要

屋外での飲食に適する時期（春（5～6月）・秋（9～10月）を想定）に、更上閣敷地内にキッチンカーを導入して食事を提供する実証実験を行い、出店者や利用者からのアンケート結果等をもとに、貸館や通年事業として施設利活用の可能性を模索する。

(1) 日程案：令和4年10月15日（土）～24日（月）

(2) 出店時間：午前11時～午後2時（3時間）

(3) 1日あたりの出店数：2～3店舗を想定

(4) その他：①ガーデンテーブルとチェアは市が用意

②令和6年度の事業化を目指し、令和5年春・秋もトライアル事業として実施予定

### 3. 出店の条件

(1) 事業の趣旨を理解し、公序良俗に反しない方

(2) 場所代（使用料）は減免とする（売上がない場合の損失補填はなし）

(3) アンケートへの協力

### 4. その他

・会場図は別添図面参照のこと

# 更上閣ガーデンレストラン トライアル事業 計画図



新井田公園テニスコート増設等工事について

1 工事の概要

新井田公園内の既設のクレイコート6面を人工クレイコートに改修するとともに、コート2面、照明設備及び管理棟を整備するもの。

2 予算額（令和2年度から4年度までの継続費）

単位：千円

年度	事業費	財源		
		国庫 <small>(社会資本整備総合交付金)</small>	市債	一般財源
令和2年度	200,000	100,000	100,000	0
令和3年度	200,000	100,000	90,000	10,000
令和4年度	0	0	0	0
合計	400,000	200,000	190,000	10,000

3 工種

(1) 実施済の工種

①増設等工事

工期	令和3年5月13日～令和4年3月31日
契約者	中当建設株式会社（八戸市大字田向字向平12番地1）
契約額	119,713,000円(うち消費税等の額10,883,000円)

②電気設備工事

工期	令和3年7月31日～令和4年3月25日
契約者	株式会社京谷電気（八戸市北白山台二丁目8番23号）
契約額	96,030,000円(うち消費税等の額8,730,000円)

③管理棟建築工事

工期	令和4年3月29日～令和4年8月10日
契約者	有限会社マルキ佐々木工務所（八戸市白銀一丁目6番地19）
契約額	13,475,000円(うち消費税等の額1,225,000円)

(2) 実施中の工種

①増設等工事 (その2)

工期	令和4年6月22日～令和5年3月24日
契約者	株式会社高橋工務店 (八戸市小中野八丁目3番4号)
契約額	141,654,700円(うち消費税等の額12,877,700円)

4 増設等工事 (その2) のスケジュール

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備工	■	■								
公園施設等撤去・移設工		■	■							
グラウンド・コート舗装工				■	■	■	■			
グラウンド・コート施設整備工		■		■	■					
スタンド整備工		■	■	■						
雑工								■	■	■

5 増設等工事 (その2) の進捗率 7% (令和4年8月31日時点)

6 増設等後の新井田公園テニスコートのイメージ



参考：現在の新井田公園テニスコートの様子※令和4年9月2日撮影

【全景】



【全景】



【管理棟】



## 八戸市美術館の企画について

### 1. 展覧会について

#### (1) 佐藤時啓展

美術家・写真家の佐藤時啓氏が2016年から八戸に通い続けて制作された写真作品を中心に構成する展覧会を開催。マジックランタン（幻燈機）をテーマに、八戸の文化と景観を融合させたシリーズなどの新作を紹介する。

また、併せて八戸ブックセンターとの連携事業や、カメラの構造を体験して楽しめるプロジェクト等も実施する。

- ・展覧会名 佐藤時啓ー八戸マジックランタンー
- ・会期 令和4年10月29日（土）～令和5年1月9日（月祝）
- ・開催場所 八戸市美術館 1階ホワイトキューブほか
- ・観覧料 一般800円（650円）、大学・専門学校生400円（300円）、高校生以下無料  
（ ）内は20名以上の団体料金
- ・割引等 ①市内及び近隣町村の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額  
②近隣駐車場利用者は駐車券等の提示で運転者1名分に団体料金適用  
③会期中に何度でも観覧可能なフリーパス「かおパス」を販売（一般1,200円、高校・大学生600円）  
④毎日17時以降観覧は半額となる「ナイト割」を設定
- ・その他 展覧会に関連して、会期中に八戸ブックセンターのギャラリーにおいて、展覧会の写真集がどのようにつくられたのかをテーマとする展示を行うほか、自転車とリヤカーを組み合わせた移動式巨大カメラ「リヤカーメラ」を使ったアートフェアーマー（市民スタッフ）による企画等も行う。



《On the Sea #15》「Magic Lanttern」シリーズより 2022年



リヤカーメラ

#### (2) コレクションラボ002「地をみつめる」展

美術館の収蔵作品を独自の切り口で紹介する展覧会シリーズ「コレクションラボ」2回目として、八戸ゆかりの作家による、八戸市の風景が描かれた作品を中心に展示する。

また、観覧者と学芸員で展示作品について感じたことを語り合うイベントや、市内で展示されている地元作家の作品情報を集めるプロジェクトを通して、市民と美術館がともに作品を研究できるような展覧会とする。

- ・展覧会名 コレクションラボ002「地をみつめる」
- ・会期 令和4年9月10日（土）～令和5年1月16日（月）
- ・開催場所 八戸市美術館 1階コレクションラボ
- ・観覧料 無料
- ・その他 会期中に、八戸焼のお猪口で地酒をいただいた後、作品を鑑賞する「ほろ酔い鑑賞『ほろ8』」や、来館者に、市内で美術作品が展示されているスポットを展示室入口の地図に自由に描き込んでいただく「地をみつめるマッピング」プロジェクトを行う。



石橋宏一郎《蕪島》制作年不詳



展示の状況

## 2. プロジェクトについて

令和5年4月から8月にかけて、「出会いと学びのアートファーム」という美術館のコンセプトを体現する企画として、現代アートの作品展示とプロジェクトで構成する「美しいHUG！」展を開催するにあたり、先行して2つのプロジェクトを行う。

### (1) きむらとしろうじんじん野点 i n 八戸

陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんを招聘し、市民スタッフと一緒に「おさんぽ会」で実施場所を探したり、リハーサルを行いながら「野点」を行う。

- ・開催日時 令和4年10月1日（土）昼頃から日暮れまで
- ・開催場所 八戸市美術館前広場
- ・内 容 窯を積んだリヤカーで繰り出し、参加者がその場で絵付けをしたお茶碗を焼き上げ、自作のお茶碗で、「その土地・その日・そのときの風景」の中でお茶を楽しんでいただく。野点の運営は、事前に募集したアートファーマーと一緒に行う。
- ・参加料 お茶碗絵付け 2,000 円、お抹茶 300 円
- ・備考 野点の開催場所を決定するにあたり、6月から7月にかけて5回「おさんぽ会」を開催し、参加したアートファーマーと一緒に決定した。





鳥取市要瀬町駅前 2006年 写真:田中良子



おさんぽ会 2022年6月

## (2) 黒川岳《listening to stone》

美術館の広場に、美術家の黒川岳の石の彫刻作品《listening to stone》を設置する。

- ・作品設置日 令和4年9月16日(金)～17日(土)
- ・設置場所 八戸市美術館前広場
- ・内 容 石にあいた穴に鑑賞者が頭を入れ、石に集まる音を聞く彫刻作品10点を設置。今後、八戸の石を使った作品を追加で制作し、来春の展覧会開催時に合わせて展示する。



黒川岳《listening to stone》2018年

## 長根屋内スケート場における夏季合宿の状況について

### 1 夏季合宿の概要

- (1) 合宿期間 令和4年7月下旬～9月末
- (2) 利用団体数 53 団体（前年同時期と比べ 17 団体増）
- (3) 利用延人数 5,109 名（ ” ” 697 名減）  
※利用延人数には、各団体からの事前連絡による9月中の見込み数を含む。
- (4) 宿泊施設数 市内 24 施設

### 2 夏季合宿誘致の取組

- (1) 案内文の送信  
スケート部のある企業、大学、高等学校、各都道府県のスケート連盟あてに、夏季合宿の利用案内、施設紹介パンフレットをメール送信するとともに、今年度から始まった八戸スポーツコミッションのスポーツ合宿補助金について情報提供したほか、市ホームページに合宿者向けの情報を掲載
- (2) 合宿者向け自転車練習コースの周知  
合宿者のトレーニングの充実を図るために設定している自転車練習モデルコースの情報を市ホームページにて周知
- (3) 施設利用の合宿者優先時間の設定  
合宿者が効率的にトレーニングできるように、トレーニング室利用に係る合宿者の優先時間を設定

### 3 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 合宿者向けガイドラインの策定・通知による協力要請
  - ・合宿者名簿の提出
  - ・新型コロナウイルス接触確認アプリの登録推奨
  - ・マスク着用の徹底（リンク滑走、トレーニング時以外）
  - ・「三つの密」（密集・密接・密閉）の回避
- (2) 施設の対応
  - ・手指消毒液の設置、サーマルカメラによる体温測定
  - ・施設の換気設備による定期的な換気
  - ・施設（トレーニング機器含む）の定期的な消毒

### 4 長根サマースピードスケート競技会（夏季合宿期間における競技会）

- ・開催日 令和4年8月20日(土)、21日(日)
- ・主催 青森県スケート連盟
- ・参加者数 242名（前年と比べ 58名増）
- ・大会新記録 男子：500m、5000m、10000m 女子：500m、1500m、5000m

## 長根屋内スケート場 スケートリンク一般開放について

長根屋内スケート場におけるスケートリンクの一般市民向け開放(一般開放)について、開始時期及びその運用方針等は次のとおり。

### 1 開始予定日

令和4年10月2日(日)

### 2 運用方針

#### (1) 人数制限

新型コロナウイルス感染症対策のため、これまで1回あたり最大300名(付添い、保護者を含む。)としていたが、これを人数制限無しとする。

なお、今期も、コロナ対策としての混雑回避のため、無料開放は行わない。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染状況や国、県等の対策状況を見ながら、適宜見直しするものとする。

ア 入場時の手指消毒、検温の実施

イ 入場者の把握のため、滑走券裏面に氏名及び電話番号を記入、入場時に回収

ウ 滑走時を含むマスクの着用

エ 施設の換気設備による換気の実施

オ 新型コロナウイルス接触確認アプリの登録推奨

## 2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の日程変更等について

令和4年9月7日（水）に開催された国際スケート連盟の理事会において、本市での開催が内定している 2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の日程が変更になるとともに、当該大会開催の前週に「ISU ジュニアワールドカップスピードスケート競技会」最終戦も本市で開催されることが内定したものの。

### 1 2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の日程変更

- (1) 日 程 変更前 2024（令和6）年3月1日（金）～3月3日（日）  
変更後 2024（令和6）年2月9日（金）～2月11日（日）
- (2) 開催地 八戸市（会場：長根屋内スケート場「YSアリーナ八戸」）
- (3) 大会概要 年に一度1月～3月頃に開催される、国際スケート連盟主催のジュニア世代（14歳以上19歳以下）を対象としたスピードスケートの国際大会。

### 2 ISU ジュニアワールドカップスピードスケート競技会最終戦の内定

- (1) 日 程 2024（令和6）年2月3日（土）～4日（日）  
※ 2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会開催の前週
- (2) 開催地 八戸市（会場：長根屋内スケート場「YSアリーナ八戸」）
- (3) 競技会概要 ISU ジュニアワールドカップは、国際スケート連盟主催のジュニア世代を対象とした競技会。毎年11月頃から翌年2月頃にかけて、全3戦で行われ、その最終戦は ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会開催の前週に、当該大会の開催地において開催されることが多い。

（参考）最終戦開催地

2019-2020(令和元年度)シーズン	ミンスク（ベラルーシ）
2020-2021(令和2年度)	〃 コロナ感染拡大の影響で開催中止
2021-2022(令和3年度)	〃 インズブルック（オーストリア）
2022-2023(令和4年度)	〃 インツェル（ドイツ）

### 3 今後の予定

上記大会・競技会の開催に向けた実行委員会の設立等について、（公財）日本スケート連盟をはじめとする関係機関と協議し、準備を進める。